

仲間と燃やす熱き魂！秩父の職人が海外で活躍



塗装のボランティア団体「塗魂ペインターズ」の一員として、中村町で塗装業を営む上林猛志さんが、ユネスコ世界記憶遺産の登録を目指すリトアニアの旧領事館（現・杉原千畝記念館）の修復事業に参加されました。上林さんは、「日本各地から集まった多くの仲間とともに、ユダヤ人を助け多くの命を救った外交官・杉原千畝氏のように塗装で社会貢献ができたと思います」と熱く語ってくれました。

ちょこっと体験♪バレエワークショップ



9月24日、秩父宮記念市民会館にて、バレエワークショップ「開演前のちょこっと体験」が開催されました。前半は小中学生を対象に行われ、参加した子どもたちは一生懸命講師の先生方を目で追いながら体を動かしていました。バレエの基礎を通して、日頃から意識できる美しい姿勢を保つコツなどを教わり、バレエを身近に感じる事ができました。

輝く子どもたち!!



10月14日、秩父市・秩父市青少年育成協議会主催により、ミューズパーク野外ステージで「秩父はんじょう博 第44回秩父市子ども芸能大会」が開催されました。9団体が出演し、秩父屋台囃子や獅子舞、歌舞伎、ヒップホップダンスを披露しました。子どもたちは、日ごろから一生懸命練習した成果を発揮して、迫力ある演技で多くの観衆を魅了していました。



世代間交流を通じて



9月11日に荒川公民館において寿大学の講座「世代間交流」が行われました。ご高齢の方と荒川幼稚園の園児と一緒に、芸能活動を行っている町田幸雄さんによる手品や腹話術を見て笑ったり、手遊びやお遊戯をして楽しみました。かわいい園児たちとの交流で全員が笑顔になれる講座でした。

今年も30本の龍勢が打ち上げられました!



10月8日、龍勢祭が開催されました。今年は天候にも恵まれ、真っ青な空に白い龍勢の煙が映えていました。アニメ「あの花」ファンの想いが込められた龍勢も打ち上げられ、龍勢が打ち上がるたびに大きな歓声と拍手が湧き起こり、会場周辺は大勢の人で賑わいました。

素朴な味に思わずほっこり



9月29日、大滝公民館にて、「栃餅づくり教室」が行われ、多くの人が受講しました。全工程は3回で、今回はトチの実の皮むき、天日乾燥を行いました。今後あく抜き、白にて餅つき、試食になります。とち餅はあく抜きが難しく手間と時間がかかると言われています。ほんのり苦く香ばしい自作の味を楽しみに、受講者は伝統の技術と文化を学んでいました。